



成小だより



令和8年6月30日
成増学びのエリア
(赤二中、成増小、成増ヶ丘小)
板橋区立成増小学校
電話03(3930)0172

【7月号】



【成増小学校HP】

校長 荻久保 剛正

子どもたちの安全を守り

安心して子どもたちが集える学校づくり

例年通りの6月のプール開き。プール開きは行ったものの・・・今年の梅雨は久しぶりに梅雨らしい空模様の日も多く、気温も上がりきらず、どの学年もなかなかすっきりと気持ちよくプールの授業を行えない日々でした。昨年度のようにWBGTが高くなりプールが中止、外遊びも中止も残念ですが、雨や低温で入れないのもまた残念なことです。7月の中旬頃には気温が高くなるとの予報が出てきています。プールに入る機会が増えることを願っています。近年はプールの回数が減少していることもあり、せめて水に慣れ、水の中で体を自由に動かせるようになってほしいと考えています。水と親しむことは、水辺での不慮の事故を減らすことにもつながります。泳力とともに、安全に水と関わることができる子どもたちとなれるよう支えていきたいと思えます。また、水泳は全身運動ですから、子どもたちの体力の向上にも役立ちます。生涯スポーツとしての水泳の意識を高めるきっかけにもつながればと考えています。体育の学習として泳力を伸ばせる時間も確保していかなければなりません。天候と対峙しながら取組を進めてまいります。

そこで一つお願いがあります。プール道具、プールカードなどの忘れや記入抜けなどの理由で見学している子どもたちがどの学年にもおり、残念に感じています。クラスルーム等の連絡を保護者の皆様にもご確認いただき、お声かけいただけましたら助かります。どうぞよろしくお願いいたします。



梅雨の晴れ間に、4年生と一緒に光が丘清掃工場に社会科見学に行ってきました。生活と切っても切り離せないゴミについて考えるきっかけができたのではないかと思います。ゴミを増やさないために自分たちにできることを考え、それを周囲に発信していくこと、めあてをもって探究して行ってほしいです。

今年度1回目のふれあい月間が終わりました。いじめ防止の取組です。子どもたちには、朝会等を通して、自分のことばかりでなく、周りの人のこともよく見て生活すること、自分と他の人の思い、自分と他の人の感じ方には違いがあることを意識しながら生活をしましょうという話をしてきました。4月当初より継続的に話していますが、それでも、なかなか子どもたち同士の思いの行き違いはなくなりません。つらいことがあったときに、どのようにすればよいのか、誰に話そうかなど、日常的に自然と考えられるように、どの学年でも担任や副担任が子どもたちとの関わりを大切にしています。一人ひとりの子どもたちが、安心して生活できる場所となるよう取り組んでまいります。

6月の避難訓練では、高島平警察署の方々によるご協力の下、不審者対応訓練を行いました。避難訓練を通して、様々な体験をし、自己を守る術を身に付けていきます。世界でも、日本でも大きな地震も度々起こっています。地震が起きたとき、火災が起きたとき、自分は、友達は、「自助」「共助」「公助」について、1年生から6年生までがしっかりと考えられるよう、支えてまいります。また、子どもたちの安全を守り、安心して学校生活を送るようになることは、学校で働く教職員全員の使命であり、すべきことだと考えています。何か起こる前に、何か起こったときの最悪の事態を想定して、日々安心を届けていきたいと考えています。



いよいよ1学期も残すところ3週間となりました。学習のまとめ、生活のまとめを行うとともに、夏休みが充実したものとなるよう、しっかりと振り返りを行い、子どもたちの成長を支援してまいります。今月も職員一同、「チーム成増」を意識し、子どもたちを真ん中に据えた教育を実現していくため、しっかりと共通理解を図り、一丸となって子どもたちの成長のための取組を進めてまいります。教職員だけでなく、保護者の皆様、地域の皆様方のご協力も得て、チームとして、子どもたちを支えることが大切だと考えております。保護者・地域の皆様の変わらぬご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。